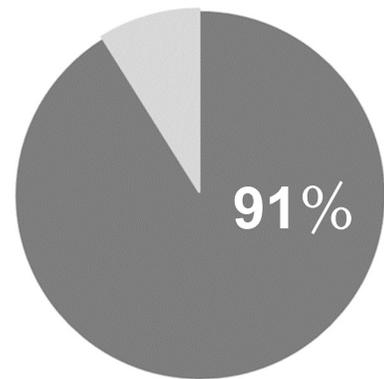


文理選択とは、「自分への理解」である

いよいよ文理選択が目前に迫っています。記載事項やワークを通して、自分にしっかりと向き合い、後悔のない文理選択まで一直線に進みましょう。

「まだまだ文理選択はあとでいいや」…とっていませんか？



左のデータは…
**「1年生秋に成績のよかった人のなかで
 文理を決定している割合」**

成績のよい人は、この時期には自分の進路をすでに決定しています。自分の進路についてしっかり考えていると、前向きに学習に取り組めるきっかけにもなります。文理の決定は残りの高校生活のみならず、大学進学後や将来の職業などにも関わります。自分の好きなことややりたい姿など、今一度自分と向き合い、文理選択をしましょう。

文理選択ワーク①：自分の興味・関心や好きを知る

文理選択をする際に大事にしてほしいことは「学びたい気持ち」です。自分の興味・関心があること、好きなことは「学びたい！」という意欲も湧くと思います。自分の興味・関心や好きを可視化するために、下の欄に記入しましょう。

ワーク① 興味・関心や好きを自由に記入しましょう。

例：ゲーム / 英語 / 薬剤師 …など趣味や教科、将来の夢など自由に記入

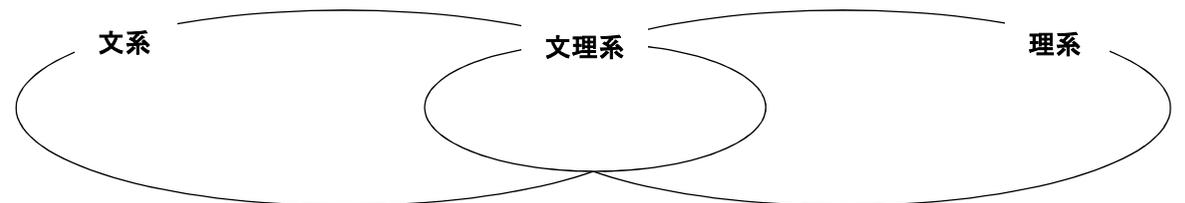
⇒続いて、ワーク②、③に取り組みましょう。

文理選択ワーク②・③：学部・職業を調べる⇒文理決定へ

ワーク② ワーク①に関する学部や職業を調べてみよう。

例：ゲーム⇒つくりたい！⇒プログラマー⇒工学部 英語⇒教えたい！⇒先生⇒教育学部
 薬剤師⇒国家資格取得・薬学の勉強⇒薬学部薬学科 …など連想していく。

ワーク③ ワーク②で出た学部の文理を調べて傾向を分析しましょう。また、文理決定前に下記注意事項に目を通しておきましょう。



注意事項

- ① **うわさや不確かな情報をもとに決めない！**
正しい情報収集を心がけ、先生に相談するなどし、納得のいく文理選択をしましょう。
- ② **志望大学や志望学部の受験科目を調べる！**
受験科目が制限されている場合があるので、あらかじめ傾向などを確認しましょう。

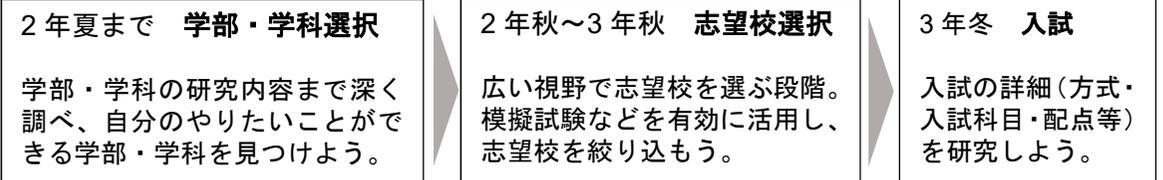
文理決定後の学習のポイント・今後の進路選択

文理選択後の学習のポイント…「弱点克服」

苦手教科のある人は、1年生秋のうちに克服し、文理選択後のクラスに進んだときに、自信を持って学習に取り組めるようにしましょう。

- 💡 ヒント 💡
- ・授業で分からないことがあった場合は、その日のうちに解決する。
 - ・問題演習は基本から取り組み、基本が理解できてから応用に取り組む。

今後の進路選択の進め方



データは、2018年度スタディーサポート1年生第2回全国集計結果より。「成績のよかった人」はGTZ(学力): S1～S3(難関大合格レベル)、※「GTZ(学力)」は、学力の到達度をS1～D3の15段階の大学群で表示したものです。